

## 「将来、求められる能力」

時代の変化は、私たちが考える以上に急速だ。学校では一人一台のタブレットが配布され、スマホの普及により誰もが情報機器と身近に接するようになった。20年前、21世紀当初には考えられないことだ。今では、ほとんどの人がそれを当たり前のように使っている。想像の世界だったものが現実の世界になりつつあり、それに伴って、求められる能力やスキルも変化している。

今から9か月前、経済産業省が「未来人材ビジョン」という報告を出した。これからの時代に必要となる具体的な能力やスキルを示している。これから社会に出ていく中学生の皆さんにとって、今後の学習によって、どのような能力やスキルを高めていかなければならないか考えるヒントになるように思う。

この報告の中では、今から8年前の2015年と27年後の2050年を比較している。8年前に社会人に求められていたものとして挙げられていたのが、注意深さ・ミスがないことや責任感・まじめさ、信頼感・誠実さ、そして基本機能として読み、書き、計算等であった。しかし、27年後にはデジタル化と脱炭素化が進展し、高い成長率を実現できると仮定したとき、職種としては事務従事者、販売従事者の需要が減少し、情報処理・通信技術者、開発・製造技術者といったエンジニアのような職種が増加すると考えられている。そこで、最も求められる能力は、問題発見力になるだろうとしている。さらに、的確な予測や新たなモノ、サービス、方法等を作り出す革新性、的確な決定、情報収集、客観視が挙げられている。

このビジョンでは、若い世代に対しては、①常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す能力、②夢中を手放さず一つのことを掘り下げていく姿勢、③グローバルな社会課題を解決する意欲、④多様性を受容し他者と協働する能力が求められるだろうとしている。それに合うように、学校を中心とする教育現場でも、そのような能力やスキルを伸ばすような教育に変わっていかよう。

2月27日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 右の計算を成り立たせるように空欄をうめてください。なお、各数字の先頭には「0」は入りません。また、すでに見えている数字と同じ数字が入ることもあります。

$$\begin{array}{r} 3 \quad \square \\ \times \quad \square \quad \square \\ \hline 3 \quad \square \quad 3 \\ \square \quad \square \quad \square \\ \hline \square \quad \square \quad 3 \end{array}$$